2026.年度　横浜市交流委員会報告書

開催内容	2026 年度　第 1 回横浜市交流委員会
日　　時	2026 年 5 月 27 日（水）16:00～17:30
場　　所	神情協会議室
出 席 者	委員会メンバー：中山、高橋、佐伯、辻、今井、樫野、田高、渡邊（ヴァングル）、西村、水口、荻原、大山、橘川（Zoom 参加）、野口 横浜市経済局　：甘粕、髙木、酒井、遊亀 オブザーバー　：関、松尾 神情協事務局　：加藤、甲田　（敬称略、順不同）文責：甲田

1）委員長からのご挨拶

高橋委員長より開会挨拶および「2027 年横浜国際園芸博覧会（グリーンエキスポ 2027）」の視察報告が行われた。万博跡地等の活用やエコ配慮、木材ツリー「風祭」の建設など、大規模イベントに向けた進捗が共有された。

2）委員会メンバー・市職員自己紹介

各委員および横浜市経済局担当者による自己紹介を実施。

3）横浜市様アナウンス

①2026 年度の経済局予算概要の説明

中期計画 2026-2029 の初年度として、市民生活の質向上と企業活動の活性化を両立する施策を展開する。実質的な事業費は増加しており、特に脱炭素循環経済への対応、中小企業の競争力強化、スタートアップ支援、地域経済活性化を重点的に推進する。

②脱炭素取組宣言のお勧め

スマートフォンから簡易に宣言可能。宣言により PR ツールの利用や、省エネ診断補助金、カーボンニュートラル設備投資助成金、融資保証料の減免等の支援制度が活用できる。

③脱炭素経営支援・省エネルギー化支援助成金等のご案内

スタートアップ支援（テックハブ横浜の運営、実証実験支援、海外展開支援等）および中小企業向け助成制度について案内があった。また、6 月 12 日には「外国人材活用入門セミナー」の開催が予定されている。

④展示会出展費用助成金募集のご案内

海外情勢や関税の影響を受ける中小企業を対象に、出展料や設備費等を助成（上限 30 万円）。第 1 期募集は 2026 年 8 月 31 日まで。

4）2026 年度の委員会体制についての報告

横浜市交流委員会ならびに横浜市経済局の 2026 年度体制について報告

7 月に再度報告予定。

5）今年度の事業予定

〇委員会　5/27（水）、7/22（水）、11/4（水）

〇宿泊研修事業　現時点で予定なし

〇外部組織との連携　通年実施

〇市内施設見学会　2024 年度から 2 月～3 月頃の開催とした。（日程未定）

〇夏休み親子わくわく見学会　川崎市交流委員会担当　7/31　ロボテラス辻堂見学予定。

〇横浜 IT フォーラム　11/12（木）の開催予定、横浜ビジョンセンターを確保した。

テーマについては 7 月の委員会にて選定し、8 月中に講師等調整を行い、9 月の理事会にて開催計画を提出する。懇親会も立食で実施予定。

6）2026 年度の神情協事業の計画の説明

主要イベントとして、台湾研修（6/2～）、総会（6/18）、各種セミナー、ビジネスフォーラム等が通年で計画されている。

7）　40 周年記念事業についての報告

8 月 8 日（金）に新都市ホール（横浜そごう）にて開催予定。午前の式典と、午後の「夢まつり

（ステージイベント、屋台等）」で構成される。横浜市交流委員会からもスタッフとして 17 名が参加し、運営に協力する。

8） セキュニティ活動についての報告

辻理事から報告。前山副会長をプロジェクトオーナーとし、「サイバーセキュリティ対策研究会」を新たに設立。警察・経産省と連携し、県内企業の啓蒙活動、緊急情報の提供、インシデント対策の補助スキーム構築を目指す。今後、グランドデザイン策定後に委員会メンバーへ協力を依頼する予定。本事業の進捗については、再度横浜市交流委員会内で共有予定。

以　　上